

# 一般社団法人 全国ホームホスピス協会

## 社員総会

2016年12月4日(土)午後12時～  
於：ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター

### 決議事項

- 第1号議案 第2期(2015年10月1日～2016年9月30日期)  
事業報告書承認の件
- 第2号議案 第2期(2015年10月1日～2016年9月30日期)  
決算報告書承認および監査報告の件
- 第3号議案 役員選任の件
- 第4号議案 定款変更承認の件

### 報告事項

1. 第3期(2016年10月1日～2017年9月30日期)事業計画及び予算書





## 一般社団法人 全国ホームホスピス協会

### 第 1 号議案 第 2 期 事業報告書 ( 2015 年 10 月 1 日 ~ 2016 年 9 月 30 日期 )

#### 1、まとめ

2015 年 8 月に一般社団法人として発足した「全国ホームホスピス協会」は、ホームホスピス推進委員会のメンバーを主にして理事会をスタートしました。2015 年 12 月には、それぞれの実践をもとにした「ホームホスピスの基準」を制定し、年次総会で基準について報告し、この基準に基づいて実践をしていくことを確認しました。

基準を策定するまでの 2 年間のプロセスは、ホームホスピスの理念を共有しお互いに学び合う機会となり信頼関係を築けたことが協会発足の原動力になりました。そして、日本財団の助成金を得て 2016 年 4 月より事務局機能を始動しました。ホームホスピス宮崎の事務局に併設した形で、事務局に黒岩雄二、岡田瑞穂の両氏にお願いしました。また、理事会は各地で開催することになるために、記録を古野たづ子氏に依頼しました。

協会の設立に伴いホームページを開設しました。このフォームに、各地でのホームホスピスの有無やこれから開設するためにはどうしたらいいのか等の問い合わせが寄せられています。また、中には地域の方から「ホームホスピス」に対するクレームも飛び込んできて、協会としての対処を理事会で検討し、当事者に面談して解決の道を探りました。

また、事務局が動き出してまもなく 4 月 14 日熊本地震が発生しました。ホームホスピスわれもこうも被災し、すぐに協会事務局に支援本部を設置し、募金と支援物資の取りまとめの体制を組みました。全国から募金が寄せられ、ホームホスピスの仲間も助っ人としてわれもこうにはせ参じました。これが協会としての大きな第 1 歩の仕事になりました。

レビュー（評価）に際して、まず理事の団体を実施していこうということになり、最初に愛逢の家をお願いして試験的にスタートしました。やりながら考えていくというものでしたが、年度内に 5 つのホームホスピスのレビューを実施しました。反省も成果も併せてやりながら少しずつ再考し、5 か所のホームホスピスを認定することができました。その経過から「レビューの手引き」を作り、合わせて審査委員会を設置しました。理事メンバーに加えて、新津ふみ子氏、久保野イツ子氏に委員として加わってもらいました。

第 4 回合同研修会は、事務局を NPO 法人たんがくが担い、会場に熊本保健科学大学をお借りして開催しました。久留米の地域の応援団として美婆会の方々がバスで駆け付けてくださり、久留米のそろばん踊りなどホームホスピスならではの楽しい舞台で幕が開きました。改めてホームホスピスのケアの原点を見つめようと、米沢氏のホスピスの源流をたどるお話と、金井先生のナイチンゲールの看護の原点には、私たちが日々取り組んでいるホームホスピスの実践が間違っていないことを確信する素晴らしい研修となりました。また、関西支部の研修会は、生活のリズムを整えるのに欠かせない排泄のケアの勉強会でした。今後、各支部研修会にこのテーマで開催していくことの希望が出されました。

また、消防法の改正で平成 30 年 3 月 31 日までに、有料老人ホームにおいては、スプリンクラーの設置が義務付けられ、ホームホスピスの対応にについて各地域の行政とのやり取りをどうするかという課題が浮き彫りになってきました。もともと、HHは制度にはないグレーゾーンであるために、どうかんがえるのかを検討してみようということになり、「建築法規と消防法規に関する検討委員会」を理事会の中に設置しました。明治大学の園田眞理子先生の理事就任を理事会で承認しました。

実際に協会が動き出してみても、改めて協会の機能の重要性と必要性を実感する 1 年となりました。

## ① インフォメーション機能

### ◎年次社員総会

日時：2015 年 12 月 5 日（土）午後 6 時～午後 7 時

於：熊本保健科学大学・研修室

### ◎理事会の開催

第 1 回理事会 2015 年 12 月 3 日（熊本保健科学大学）

第 2 回理事会 2016 年 1 月 22 日（福岡・九州大学・西新プラザ）

第 3 回理事会 2016 年 4 月 11 日（神戸・なごみカフェ）

第 4 回理事会 2016 年 6 月 4 日（宮崎・シェラトンシーガイア）

第 1 回建築法規と消防法規に関する検討委員会

2016 年 6 月 10 日（東京八丁堀・高齢者住宅財団）

第 5 回理事会 2016 年 6 月 9 日（神戸・なごみカフェ）

第 6 回理事会 2016 年 9 月 8 日（久留米・湯の蔵）

第 7 回理事会 2016 年 9 月 23 日（神戸・なごみカフェ）

### ◎事務局体制

事務局長：黒岩雄二、事務局：岡田瑞穂、理事会記録：古野たづ子

2016 年 4 月より始動しました。理事会の開催に際しての資料作成、理事会への参加、情報の案内及びHPの管理運営、協会会計処理、会員の管理などを行っています。

### ◎広報活動

ホームページの開設（担当：黒岩雄二）

FBにアップ（担当：岡本峰子）

ニュースレター発行（担当：事務局）2016 年 9 月 20 日創刊号

## ② 人材育成事業

### ◎日本財団ホームホスピスリーダー養成プログラムの研修実施

長野県飯山市（か）、石川県小松市（か）、三重県伊勢市（か）、福島県福島市（か）、

宮崎県日南市（か）、兵庫県姫路市（な）、福岡県八女郡広川町（た）、大阪市（あ）  
奈良県大和郡山市（あ）、大阪市（な）

**合計 10 名**

◎全国合同研修会の開催：実行委員会・NPO法人たんがく

第 1 日・日時：2015 年 12 月 5 日

会場：熊本保健科学大学・大ホール

内容・金井一薫氏《ナイチンゲールからのメッセージ》

米沢慧氏《今一度、ホスピスの意味を問う》

鼎談 金井一薫&米沢慧&市原美穂

参加者：350 名

第 2 日・日時：2015 年 12 月 6 日

会場：熊本KKRホテル

内容：辺見聡《高齢期における尊厳ある暮らし》

市原美穂《ホームピスの基準》

参加者：120 名

◎関西支部研修会

日時：2016 年 7 月 23 日

会場：チサンホテル神戸

講師：榊原千秋

内容：POO マスター養成研修会 入門コース

参加者：42 名



③ 評価レビュー

愛逢の家                      日時：2016 年 4 月 9 日

かあさんの家                日時：2016 年 6 月 6 日

神戸なごみの家              日時：2016 年 7 月 9 日

たんがくの家                 日時：2016 年 9 月 8 日

われもこう                  日時：2016 年 9 月 9 日





評価審査委員：高橋紘士、市原美穂、松本京子、兼行栄子、樋口千恵子、竹熊千晶、  
園田眞理子、岡本峰子、新津ふみ子、久保野イツ子

#### ④ 政策への提言

建築法規及び消防法規に関する検討会設置

委員：高橋紘士、園田眞理子、樋口伸一、市原美穂、他

スプリンクラー設置や、有料老人ホームなど届け出など、課題は満載です。それぞれの地域で行政の対応は若干の違いはあるものの、消防署に現場を見て説明をすること、理解してもらったうえで、今後、事例を集めてデータベースを作り各省庁に話し合いできるのではないかと、例えば、技術開発や価格の交渉など。大都市と地方都市、または中山間地では実情は全く異なっている。地方自治体の裁量権はないのかを検討する必要がある。

#### ⑤ その他の事業

##### ・熊本地震われもこう支援本部設置

4月14日に甚大な被害をもたらした熊本地震で、ホームホスピスわれもこうが被災いたしました。早速、支援本部を設置し募金や支援物資の取りまとめを開始しました。開設された口座には、すぐに義援金が全国各地から寄せられました。協会を設立して良かったと実感しました。

地震の翌日に大雨の予報、雨漏りの心配から住人の方々を避難させねばなりません。このような事態に、ご近所の方々が自らも被災しているにもかかわらず、支援支援に駆け付けてくれたとのこと。地域住民の中に根差しているからこそだと思われました。

**集まった寄付金の総額：1,701,209 円**

ヘルパーとしてホームホスピスの仲間たちが助っ人にはせ参じました。



・商標「ホームホスピス」の移譲

2013年にホームホスピス宮崎において、特許庁に申請し商標登録しました。  
 今回の協会設立に伴い、全国ホームホスピス協会に商標権を無償移譲いたしました。  
 今後、商標の運営管理は、全国ホームホスピス協会で行っていきます。

第2号議案 第2期決算書

収入の部	第2期予算額	第2期決算額	決算差額	
助成金収入	6,020,000	4,225,000	△ 1,795,000	日本財団
会費収入	1,000,000	1,195,000	195,000	正団 19 正個 10 準団 1 賛 3
本販売収入		49,000	49,000	ホームホスピスの基準
参加費収入		30,000	30,000	
認定審査収入	150,000	200,000	50,000	レビュー50,000×4
寄付収入	50,000	131,640	81,640	
雑収入		97,536	97,536	関西支部より 97466・利息 90
計	7,220,000	5,928,176	△ 1,291,824	

支出の部	第2期予算額	第2期決算額	決算差額	
事業費	レビュー旅費・宿泊	480,000	0	△ 480,000 認定審査と理事会を兼ねていたため
	レビュー謝金	120,000	65,000	△ 55,000
	支部活動費	1,500,000	462,390	△ 1,037,610 関西支部大会
	ホームページ作成・更新	250,000	27,816	△ 222,184 ドメイン使用料・会計ソフト
	研修会等の抄録	1,200,000	0	△ 1,200,000
管理費	人件費	1,200,000	1,244,890	44,890 事務局給与 2 名(社保含む)
	家賃	120,000	350,000	230,000 事務局家賃
	設備費	200,000	204,984	4,984 PC



印刷費	100,000	6,060	△ 93,940	ニュースレター
事務用品	50,000	498	△ 49,502	ファイル
会議費	100,000	5,110	△ 94,890	会議室利用
旅費・交通費	1,400,000	1,146,091	△ 253,909	理事会
通信・運搬費	250,000	5,176	△ 244,824	切手・レターパック・宅急便
業務委託費	200,000	138,000	△ 62,000	社労士事務所
謝金	0	150,000	150,000	登録商標について講義
雑給	0	100,000	100,000	理事会記録
広告宣伝費	0	19,000	19,000	ホームホスピスの基準 贈呈
租税公課	50,000	11,880	△ 38,120	収入印紙・振込手数料
本仕入れ高	0	54,000	54,000	ホームホスピスの基準
期末商品棚卸高		(27,540)	△ 27,540	ホームホスピスの基準 在庫
計	7,220,000	3,963,355	△ 3,256,645	
収支差額 (収入－支出)	0	1,964,821	1,964,821	

### 第 3 号議案

#### 第 3 期役員選出(案)

役 職 名		氏 名
理 事 会	理 事	市原 美穂
	理 事	松本 京子
	理 事	兼行 栄子
	理 事	樋口 千恵子
	理 事	竹熊 千晶
	理 事	高橋 紘士
	理 事	園田 眞理子

監事については定款第 22 条 2 項により、任期 4 期のため今回は対象とならない

一般社団法人全国ホームホスピス協会定款より

## 第5章 役員

### 第18条 当法人に次の役員を置く

(1)理事3名以上9名以内

(2)監事1名以上3名以内

2 理事のうち1名を理事長俊、副理事長及び専務理事をそれぞれ1名置くことができる

(役員の選任)

第19条 理事及び幹事は、社員総会の決議によって選任する

2 理事長、副理事長及び専務理事は、理事会の決議によって、理事の中から選任する

(役員の任期)

第22条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結までとする。但し、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結までとする。但し、再任を妨げない。

## 第4号議案

### 定款変更(案)

#### 第3章 社員及び会員

(法人の構成員)

第4条 当法人に次の会員を置き、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「一般法人法」という。)上の社員とする。

(1)正会員 当法人の目的に賛同して入会した個人及び団体

(2)準会員 当法人の目的に賛同して入会し、ホームホスピスを開設しようと準備中の個人及び団体

(3)賛助会員 当法人の事業を賛助するために入会した個人及び団体

## 報告事項

### 第3期 一般社団法人全国ホームホスピス協会事業計画書

(2016年10月1日から2017年9月30日まで)

#### 1、事業活動方針

協会の設立から3期目に入る。全国の組織、体制によりやく取り掛かったという時期であるが、その役割は大きい。今後のホームホスピスの質の担保と合わせて、建物に関しては、存続が危ぶまれることもあり得る。協会として地域の事情も鑑みながら、ケアの実践の交流を深めていくことが、今年度の大きな目標である。

また、新たに立ち上げたいと志をもって戸をたたく方々を、協会としてしっかり見極める必要が出てきている。そのための研修内容を作って、より良い実践者を育成する。

次期は次のような項目を重点的に実施します。

目的	事業名	事業内容	
基 ①	レビュー（評価）	年間5か所をめどにレビューを行う	

	認定審査会	評価の在り方を検討しながら、評価表を作成 今後の取り組みについての助言、支援	
	ホームホスピスの基準	基本的に変更はしないが、評価の過程で解釈を 変えることがある。	
② 研修 及び リーダー 養成	全国合同研修会	東京に、ホームホスピスの種をまく。	
	地区研修会	・ 関西・中部地区（大阪・和歌山・三重・愛知・ 奈良・兵庫・石川・四国） ・ 西日本地区（九州・山口・広島） ・ 東日本地区（秋田・青森・宮城・福島・栃木） ・ 関東地区（東京・神奈川・長野・静岡）	
	日本財団在宅ホスピス リーダー養成研修	・ ホームホスピスリーダー研修生の受け入れ ・ 研修内容を組み立て計画に添って、指導や相 談に乗りながら、ホームホスピス立ち上げまで 助言指導	
	フォローアップ研修	・ みなしホームホスピスの研修 ・ 単位制の導入	

目的	事業名	事業内容	
③ ホーム ホスピス 立ち上げ 支援	相談支援	建物が妥当かどうか 仲間がいるのか 地域をどう耕しているか 運営がうまくいっているのか	
	ホームホスピス実践者育成塾 （初期研修も含むが、これまでの 開設している団体も参加可能。）	・ ホームホスピスの基準に沿ってケアの実践 ・ NPOとファンドレイジング （助成金や公的文書作成） ・ 高齢社会と地域ケア （地域包括ケアとホームホスピスの役割） ・ 看護と介護の一体化について ・ 地域力をどう高めるか ・ 運営に関するマネジメント	
④ 建築法規 及び 消防法 規 関 連	検討委員会の設置	園田真理子、高橋紘士、樋口伸一、市原美穂 スプリングラーの設置の課題（平成 30 年 3 月 31 日まで） ・ 他団体との情報交換	

	各地の情報	それぞれの地域の行政との関係性についての 情報収集	
⑤ 事務局	会員管理	会費の確認 入会にあたっての理事会の承認	
	商標登録運営管理	認定証の発行 無断で使用できないことを告知	
	広報	ホームページの充実 協会ニュースレター（たんぽぽ）の発行 テキストの発行	
	リーダー養成研修受付	日本財団在宅ホスピスリーダー養成プログラムの受け入れの窓口→認定ホームホスピスに 打診して受け入れを決定	
	経理業務		

### 第 3 期予算書

2016 年 10 月 1 日～2017 年 9 月 30 日期

収入の部	第 3 期予算額	第 2 期予算額	増減差額	
助成金収入	10,950,000	6,020,000	4,930,000	日本財団
会費収入	1,300,000	1,000,000	300,000	正団 19 正個 10 準団2賛3
本販売収入	25,000		25,000	ホームホスピスの基準
参加費収入	30,000		30,000	
認定審査収入	500,000	150,000	350,000	5カ所
寄付収入		50,000	△ 50,000	
雑収入			0	
計	12,805,000	7,220,000	5,585,000	

支出の部	第 3 期予算額	第 2 期予算額	増減差額	
事業費	年次大会	3,200,000	3,200,000	12/3, 4(大阪)
	レビュー旅費・宿泊	480,000	1,900,000	
	レビュー謝金	120,000		

	支部活動費	1,500,000	1,500,000	0	九州支部・関西支部・東日本支部(仮)
	ホームページ作成・更新	250,000	250,000	0	ドメイン使用料・会計ソフト
管理費	研修会等の抄録		1,200,000	△ 1,200,000	
	人件費	2,410,000	1,200,000	1,210,000	事務局給与 2 名(社保含む)
	家賃	600,000	120,000	480,000	事務局家賃
	設備費	100,000	200,000	△ 100,000	
	印刷費	100,000	100,000	0	ニュースレター
	事務用品	40,000	50,000	△ 10,000	
	会議費	100,000	100,000	0	
	旅費・交通費	1,300,000	1,400,000	△ 100,000	理事会
	通信・運搬費	250,000	250,000	0	切手・レターパック・宅急便
	業務委託費	250,000	200,000	50,000	社労士事務所・会計事務所
	謝金		0	0	
	雑給	100,000	0	100,000	理事会記録
	広告宣伝費	10,000	0	10,000	
	租税公課	41,000	50,000	△ 9,000	収入印紙・振込手数料
	本仕入れ高	54,000	0	54,000	ホームホスピスの基準
計		12,805,000	7,220,000	5,585,000	